since1995.12
2025 年3月発行

SKYかわさき通信

社会福祉法人ＳＫＹかわさき
〒214-0014 川崎市多摩区登戸 2341-1
TEL：044-299-6526
FAX：044-922-6628
HP：http://www.sky1995.com/

第 52 号

「理事長就任のご挨拶」

社会福祉法人 SKY かわさき理事長　青野眞美子

昨年 6 月の理事会にて、簗根俊明初代理事長、三橋良子前理事長と引き継がれてきた理事長という大役を、さらに引き継ぐこととなりました。改めてその職責の重さに身の引き締まる思いでこの半年余りを過ごしております。

当法人は 1995 年の市民団体設立から 30 年近く、川崎市北部を基盤に、「精神しょうがいのある人が、自らの望む暮らしを実現するために人と人とがつながりあえるまちづくり」を理念として事業を進めてまいりました。2020 年には社会福祉法人として再スタートし、現在もまた、少しずつ法人の事業を増やし、紆余曲折、沢山の反省の思いを抱えつつではありますが、順調に活動を広げてまいりました。

今後の法人運営については、国や行政からの給付や補助金の削減、人材確保の困難、地球規模の自然災害による防災対策の深刻さ他、時代の流れもあり、大変厳しい現実に迫られております。また、格差社会の現実や人権侵害等、日々の厳しい報道が後を絶たないことにも心が痛みます。このような難しい課題を乗り越えなければならない中ではありますが、SKY の事業をすすめてきて下さった当事者の皆さん、日々努力を重ねている 70 名あまりの職員や役員の皆さんに敬意を表し、これからの課題を共に乗り越えていくために知恵を出し合い、力を合わせ、法人事業を少しでも前に進めていきたいと思います。

この間、沢山のご支援、応援を頂き、法人を支えて下さった多くの地域の皆様、関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。そしてこれからも、一層皆様から法人へのご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。まだまだ未熟な理事長ではございますが、精一杯とり組んでまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

《法人本部からのお知らせ》

コロンビア出身の人権活動弁護士アンドレア・パラ氏が来訪されました

SKYかわさき前評議員であり、ゆりあすのプログラム「グループ法律相談会」でも開設当初よりお世話になっている池原毅和弁護士らの招聘により、南米・コロンビアよりアンドレア・パラ弁護士が来日し、10月31日（木）SKYに訪れて下さいました。

パラ氏は、コロンビアを始めとする中南米諸国における代行決定から支援付き意思決定への転換や、後見法および強制入院法の廃止など、障害者権利条約に基づいた先進的な法改正に深くかかわってきています。今回の来日では、10月22日の日本弁護士連合会主催のシンポジウムを皮切りに、日本各地での講演やフィールドワーク等に参加されました。

SKYへの訪問では、グループホームの見学・入居者との交流や意見交換の後、ゆりあすにて「グループ法律相談会・特別版」に参加して頂きました。グループ法律相談会には家族・当事者、行政機関、法人職員など32名が参加し、日々の暮らしにおける体験や苦労、ピア活動での取り組みなどを参加者からお話し頂き、パラ氏と分かち合いました。パラ氏は「解決策は専門家の声の中にあるのではない。これまでのように、ラベルを貼られた人を消そう、見えなくさせようとするのではなく、その声を中央の舞台にもう一度移すことが必要だ」と話されていたのが印象的でした。

私たちが経験したグループホームの反対運動はもとより、近年も精神障害者の住まい探しが難航するなど、その人権が守られていないと感じる場面は少なくありません。障害者権利条約に基づく各国の先駆的な取組を道標に、私たちはだれもが自分らしく豊かに暮らせる社会が実現するよう、これからも歩みをすすめていきたいと思います。

記　：　鶴田　裕

第1期3カ年計画（2021 年度−2023 年度）を振り返って

今年度は、2021年度に策定した第1期3カ年計画の最終年にあたり、3年の振り返りを行った。策定年は新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く残る時期であり、3年後の達成目標を「地域ニーズに応えるための事業再編」「安定経営のための利用率改善」「人材育成と世代交代」とした。

目標の達成に向け、毎年度テーマを変え特別委員会を開催し、地域活動支援センターの意義や方向性の確認、就労継続支援B型事業所の通所者交通費問題の協議、移動支援事業立ち上げの検討、グループホームの今後のあり方検討を行い、それぞれ障害理解と地域交流を目的とした「イカス！スカイ展」開催やゆりあすにおける新事業開始、グループホームの次期課題整理とつながった。コロナ禍で制限されたり中止となった普及啓発イベントや就労事業所の販売活動、法人全体での業務報告会も再開することができ、低下した各事業所の利用率もコロナ以前の水準に改善された。人材育成・世代交代を図るため、主任を増員し、権限移譲をすすめた。育児や介護をしている職員の離職防止のための検討を開始し、定年再雇用後も継続して働ける仕組み作りと共に整備を進めている。

これらの振り返りを受け、残された課題と社会情勢・報酬の改定等を勘案して、現在第2期3カ年計画策定の検討をすすめているところである。

記　：　大友わかさ

ご寄附（賛助会費）御礼（令和６年６月１日～令和６年12月31日）

○谷　みどり　様　　○NPO法人ケアセンター介護福祉士会　様　　○ゆきわり草　様
○百合丘ﾒﾝﾀﾙｸﾘﾆｯｸ　様　　○合同会社ゆめﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ　様　　○寺澤　捷　様
○葉月社会保険労務士事務所　様　　○ﾌｨｰﾙﾌｧｲﾝｸﾘﾆｯｸ　様　　○竹下とし子　様
○小林　由夫　様　　○　金森　忠一　様　　○税理士法人　八木会計　様
○社会福祉法人あおばの実　様　　○高尾　成美　様　　○クリニックはまだ　様
○泰山木の会　様　　　　他19件

（申込書・払込取扱票で**「掲載可」にチェックのある方のみ掲載**させていただいております）

計178,000円のご寄附をいただきました。お志は大切に使わせていただきます。本当にありがとうございました。

画竜点睛

物事を成し遂げるために重要な最後の仕上げという意味のこと。

評議員の皆様のひとことコーナー（今回は特別版で前監事のひとことです）　Vol.7

１９年を振り返って

ＳＫＹかわさき前監事　　竹下とし子

私とＳＫＹかわさきとの出会いは、１９９８年１２月、特定非営利活動促進法が成立すると、法人化を待ち望んでいた市民団体が一斉に動き出した時期でした。行政書士としての私の所にも次々と相談が舞い込み、特定非営利活動法人（略称「ＮＰＯ法人」）の設立に追われる毎日でしたが、そのうちの１つが「たま・あさお精神保健福祉をすすめる会」で、「ＮＰＯ法人」を取得する目的で複数の市民団体が一つになり法人成りするとのことで、まずは「ＮＰＯ法人」に関する勉強会を立ち上げました。非営利って何？法人？理事？疑問奇問ずくめでしたが、２００５年６月「特定非営利活動法人たま・あさお精神保健福祉をすすめる会」の設立となりました。

ＮＰＯ法人設立後の数年間は、私も監事として法人意識のなさに苦言を呈した記憶がありますが、その後は、組織作り・規程整備・会計処理等に職員全員で取り組み、研鑽を重ねつつ法人運営に当たり、２０２０年１１月には「社会福祉法人」（以下社福）へのステップアップを果たしました。社福への設立準備手続きは全て職員で行い、本職の行政書士としての私の出番は何もなくスムーズに移行したという、その成長ぶりに驚かされました。

社福化後も４年間監事を務めさせていただき、１９年に渡り福祉の世界を垣間見る機会をいただけたことに大変感謝しております。私の仕事は、主に営利法人を相手にしていますが、新規開業時の初期費用、運転資金の工面等に追われ、自分の夢を実現することの難しさに愕然とする人々を見ていますので、補助金で活動する福祉事業についてはいささか偏見の目で見ておりましたが、限られた財源の中で事業運営していく難しさも理解できるようになりました。それでも福祉事業における新規事業のハードルは低いので、この利点を生かし未来を見据えた事業展開で法人理念を突き進んでほしいと願っています。

令和６年度　第一回 SKY 研修を行いました

令和５年　９月 25 日（水）　14：30～16：40　参加者 39 名

多摩市民館大会議室にて、「令和６年度身体拘束・虐待防止研修　日々立ち止まって振り返る ～支援の権利侵害について考える～（日々の支援、精神医療との関わり）」を開催しました。KP 神奈川精神医療人権センターの藤井会長、三瓶氏を講師としてお招きし、SKY かわさきの職員と利用者が参加する研修会となりました。講義では、障害者虐待防止法や身体拘束廃止の取り組みに加え、虐待の起こりやすい構造的な問題についてのお話がありました。ノーマライゼーションの原理に基づき、本人の希望や尊厳を重視した支援が重要であり、無意識の権力行使やパターナリズムに気づく必要性、虐待防止には職場の風土づくりや「管理ではなく対話」が重要であることが話されました。KP 神奈川精神医療人権センターの活動紹介もしてくださいました。講義の中で、『ルールや力で問題を解決するのではなく、みんなで考えていくインクルーシブな風土が重要である』というお話が大変印象的でした。

後半のグループワーク「あなたならどうする？」では、日々直面しがちな場面について意見交換をしました。支援をする立場、受ける立場、それぞれからの意見が共有され、支援者が普段気づきにくい視点を得る貴重な機会となりました。参加者からは「支援における対話の重要性」「権利侵害を防ぐための意識改革」「支援者間の連携の必要性」など、多くの学びが得られたようでした。

今回は、権利を尊重した関わりをするために、当事者の意思決定を支えるために、大切なことを学ぶ機会となりました。SKY の利用者と職員が共に考え学んでいく研修を今後も行って行きたいと思います。

２月は業務報告会「伝えたい　私たちの活動」も予定しています。お楽しみに！（研修委員会）

地域相談支援センター　ひまわり　←ひまわり冬 Ver.

『金銭管理に課題を抱える方々を、地域でどう支えていくか』

令和６年度 11 月 28 日ひまわりではを上記をテーマに地域ネットワーク会議を開催しました。今回は地域で金銭管理支援にかかわる方々をお呼びし、ホットなお話を聞かせて頂きました！

やまて企業組合（川崎市の生活保護のかたの金銭管理支援事業を受託）より、従来は通帳を預かる前提だったのが金融機関そのもののペーパーレス化によって通帳を持っている人が減り、支援現場でお金の流れが掴みにくくなったこと。また、認知症の進行等でご本人とのやりとりが難しくなる場合など、行政と連携して成年後見制度利用を勧めているお話がありました。

あんしんセンター（日常生活自立支援事業の実施、成年後見制度利用を促進）からは、比較的若い年代の利用が多くお金の使い過ぎを防ぐための支援をしていること。また、生活保護のかたの事業を移管した関係で現在は成年後見制度の利用支援に力を入れているお話がありました。

成年後見制度を担う司法書士さんからは、相続など大きな問題が解決しても終了できない等課題を指摘されている後見制度の改正に向けて動きがあること。専門職だけでなく市民後見人の育成も必要であるお話がありました。一事業所で担えることには限界があります。こうして関係者間で知識の共有や連携をしていくことが地域を支える力の一助になるのではないかと思いました。

小高い丘の多い多摩区や麻生区ではところどころ
富士山の見えるポイントがありますね♪
元気をもらえる気がしています。　by スタッフ

地域活動支援センター きたのば

川崎市多摩区登戸 2341-1
044-922-6628
イラスト：かおりさん・Rabbit さん

Follow me

Instagram

KITANOVASHOP

最新の情報は
ここで check！！

上下どちらにしても
可愛いです☆

　きたのばで作れそうな温かなアイテムはないかしら？？？ということで、昨年度より製作販売を始めた冬の定番製品になりそう“アームウォーマー”
肌さわりもとっても優しい素敵な毛糸で製作しています♪お値段もお求めしやすい破格の 1,000 円！？販売すると即完売、オーダーも多数いただき感謝です。ゆっくり丁寧に製作いたしますね☺

くーちゃん：編んでいて段数を数えるのが大変です。最後、つなげる際にとじるのがとても難しくて、何度もやり直しました。商品になって売れてとても嬉しかったです。

製品作り用のビーズ・フェルト 寄付を引き続き大募集中

ご寄付を頂いた皆様ありがとうございます。大切に活用させていただきます。
自宅に眠っているビーズとフェルトがありましたら、“きたのば“までご連絡ください！

2024 年 12 月 24 日(火)
「餃子パーティ」開催！

　忘年会・クリスマスパーティを兼ねて、ボランティアの瀬川さんのレシピで手作り餃子パーティを開催しました。
　一般的なレシピはキャベツですが、今回のレシピは茹でた白菜のみじん切りを使っていました。豚ひき肉とニラ、オイスターソースとごま油でアクセントをつけたとっても美味しい焼き餃子、、、、96 個が出来上がりました。
「食べきれるかな？」「美味しそうだけど、すごい量」の声もありましたが、最後は取り合いになりそうな勢いで、みんなで完食しました♡
　総勢 9 名でワイワイ作って食べて、より美味しく感じるランチタイムでした♪

のん太ちゃん：とっても楽しいぎょうざパーティだった。包むのがうまくいってよかった。またいつか、やって欲しいです。

長谷川 誠　:ニラを切るのをやりました。ギョウザのあんを包むのをやりました。切る場面と食べる場面はとても楽しかったです。けれども、「包む」はかなりチャレンジング・ビヘイビアーでした。

　昨年も新しい場所での販売や 5 年ぶりの販売など多くの販売に参加することができました。
また、昨年度に引き続き刺しゅう布きん３９０枚のご注文もいただき、お陰さまで更に多くの方に”きたのば”の製品を手に取っていただけたと実感しております。
　誠にありがとうございます。

Special Thanks！

出　店　：FUNFUN マーケット・パサージュたま・ハーブまつり・公害/環境まちづくりフェスタ・多摩ふれあいまつり・KAWASAKI 産 SUN フェスティバル・お月見フェスタ・せせらぎ祭（あゆまつり）・北リハフェスタ・丸山幼稚園・武田病院・ふれあいバザール みぞのくち・みんなねっと 2024 年度関東ブロック大会・SORA 市

委託販売：多摩区ソーシャルデザインセンター（奇数月）
　　　　　cafePOP・があてん・ららら（ハーブカフェ　ららら）

2024 年 4 月～12 月出店
17 箇所に出店♪

今年も頑張ります！

紙ひこうき

令和７年３月号

地域活動支援センター　紙ひこうき
〒214-0014　多摩区登戸2341－1
TEL／FAX　044－922－3686

紙ひこうきとは…　精神障がいのある方の地域生活を支援する、地域活動支援センターです。
自分のペースで来られる憩いの場、自分たちで創り上げる自分らしさの場として活動しています。

○ザ☆チキンハーツ、デビュー！！

紙ひこうきのバンド「ザ☆チキンハーツ」は、２つのプログラム【ギターサークル】【合唱】の参加者を中心に、メンバーと職員が一体となり結成されました。令和６年度は6/16(日)の多摩ふれあいまつり、7/21(日)年金者組合高津支部、10/9(水)あやめ会レクリエーション、11/14(木)みんなネット関東ブロック大会、と、デビューから現在までわずか半年の間に４回ものステージで演奏を披露。観てくださった方々からいただいたお褒めの言葉や激励の言葉を糧に、現在も日々練習を重ねています。

見ての通りの大所帯でのバンド演奏。始めの内は一曲最後まで間違えずにやりきるだけでもひと苦労でした。

各担当パート毎、課題に取り組み、プレッシャーと向き合って、本番前は円陣を組んで心を一つにしています。

令和７年は今のところ３つのステージに出演予定。行けるところまで走り続けて参りますので、お付き合いください！

2024/6/16　多摩ふれあいまつり
＠多摩市民館大ホール楽屋にて

第２回イカス！スカイ展を開催しました！！

昨年ご好評をいただいたSKYに集う仲間たちの作品展「イカス！スカイ展」。第２回は紙ひこうきが主体となり全事業所の協力のもと無事に開催することができました。前回と違うポイントは、メンバーからの〝心の病を持っている私たちの作品展であることを知ってほしい思い〞をポスターに載せたこと。そして、賛同した多くの仲間たちが出品してくださったことが何より大きな力となりました。コンセプトは「たんぽぽ」。花言葉は「真実の愛」。愛をこめて作品をお届けするという気持ちとともに、皆さんが一生懸命制作した作品で華やかな会場が完成しました。327名の様々な世代の方にご来場いただき、たくさんの温かいお言葉を頂きました。大変だったぶん、達成感のあるイベントでした！

就労継続支援B型事業所

がおでん・ららら

就労ミーティングを行いました！

就職してラララを卒業した方々の話を聞きたいとの声がメンバーさんからあり、二名の卒業生をお呼びして就労ミーティングを行いました。お二人には、ラララから就職をするまでの準備、体調管理の方法、就職までの過程やお仕事内容等を話していただきました。皆さんとても熱心に話を聞いていて、積極的に質問もされていました。

～Aさんの就職までの道～

R4　週2日利用開始
ハーブティー、クラフト作業

R5　週4日開始
ハーブティー、クラフト作業

R6.3月
就労援助センター登録

R6.6月
障害者雇用を目指し
就職活動開始

R6.8月　採用

お仕事内容

スーパーマーケット

週4日勤務

7:00～11:00

一般食料品の

品出し、陳列、

お客様への商品案内等

～Bさんの就職までの道～

H25　週2日利用開始
クッキー作業

R2　週4日開始
クッキー、調理作業

R4　週4日
調理、喫茶作業へ変更

R5.2月　就職活動開始

R5.4月　採用

お仕事内容

高齢者施設の調理補助

週3日勤務

15:00～20:00

食事の配膳、下膳

食器洗い等

Q&A

たくさんあった質問の中からピックアップしてお二人の回答をご紹介します！

Q お仕事する上で大切にしているところはどこですか？

Aさん　無理をしないことを意識しています。辛くなったら上司や支援者に相談するようにしています。

Bさん　ミスをしないように意識して、お年寄りの方に喜んでいただけるように仕事をしたいと思っています。

Q ラララで仕事をしてよかったと思う事はありますか？

Aさん　アットホームなところ。作業で時間配分を教えてもらったことも今の仕事で役立っていると思います。

Bさん　ラララに長く通っていたから今の仕事もすぐ辞めたりせず続けられているので良かったかなと思います。

感想

ミーティングに参加された方々からは、「実際にステップアップした人が来て話を聞けて良かった」、「仕事に対する熱量が凄いと思った」等の意見や、「就労援助センターの利用方法をもっと詳しく知りたい」、「定期的に話を聞きたい」等、更に意欲が高まったと感じられる様々な感想ありました。

ラララを利用されている方は、就職を目指している方だけではなく、「生活リズムを整えたい」、「長くラララを利用していきたい」といった目標を持った方もたくさんいらっしゃいます。今後もメンバーさんの意見を聞きながら、多様な目標を持った方それぞれが居心地の良いラララを目指していきたいと思いました。

・・・・・・み・ん・な・の・広・場・・・・・・・・

～　SKYメンバーの投稿コーナー　～

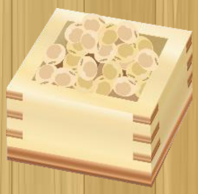
SKYメンバーの日常を切り取ったホットな投稿をお送りする「みんなの広場」。
今回も素敵な作品がそろいました！お楽しみください★

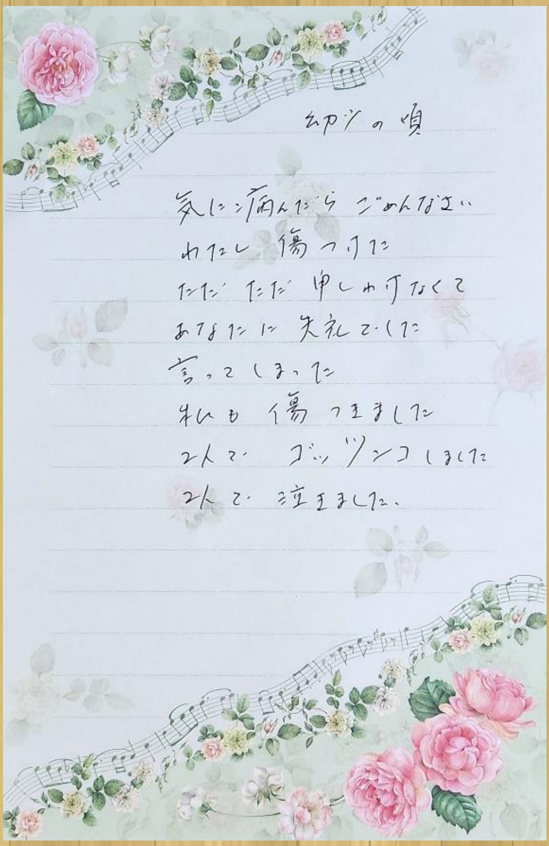
「見つめる瞳」
ホームＳＫＹ　渡辺明

どカントリーと1発

ゆりあす　堀部敦

日本を代表するカントリーシンガーのチャーリー永谷さんと。
テキサス州オースチンにある Asleep At the Wheel という
カントリーミュージックバンドのフロントマン、レイ・ベイソンの
スタジオにて。
2008年5月23日撮影。
チャーリーさんはアメリカ33州の名誉州民となっており、クリントンが大統領の時に
ホワイトハウスにも招かれています。



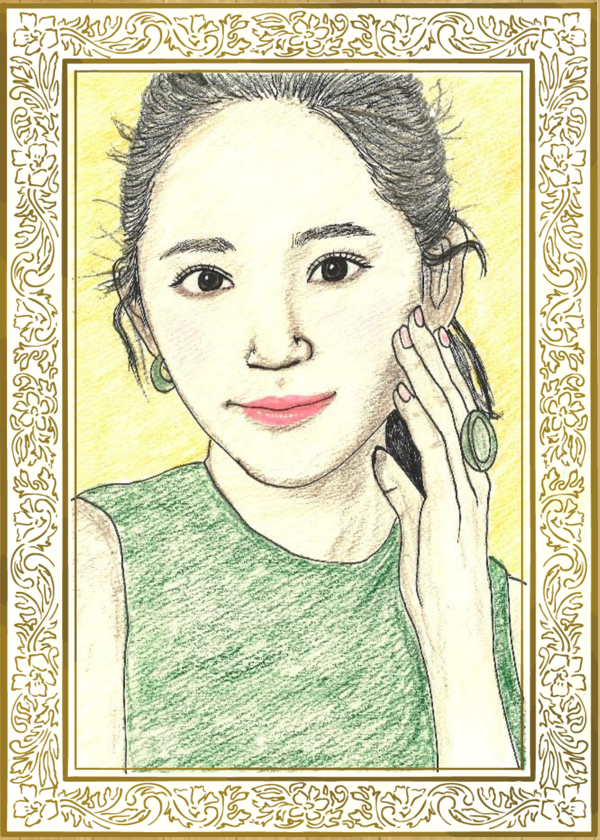


幼少の頃

気に病んだらごめんなさい
わたし傷つけた
ただただ申しわけなくて
あなたに失礼でした
言ってしまった
私も傷つきました
2人でゴッツンコしました
2人で泣きました。

「幼少の頃」
ホームSKY　めぐみ

「今年は巳年、自分がやれること」
ゆりあす　マルコ



「女性」　ゆりあす　雅道

「ビーズ作品」きたのば　rabbit

年を重ねて思う事

加齢によって身体が衰えるのは
自然の運命であり摂理
誰にも避けられない

しかし心は違う
若さは年齢で決まらない
心まで老け込んでは
何のために生きるのか
わからなくなる

どうせ一度きりの人生
楽しんだもの勝ち

「年を重ねて思う事」　紙ひこうき　夢路

紙ひこうき　やさぐれ まり

題名「ペラペラペラペラ」
お祭りみたいに、
メチャクチャ楽しかったきたのばミーティングはあっという間に終わって、
また何もなかったように日常生活に戻っていく。「レナードの朝」みたいに病気からの回復するのはほんの一瞬です。
12/17 ペラペラ ペラペラ [illegible]
かにみんなで、ぺっちゃくった!!

でっち上げた。
やっちまった。
「ぶっちゃけるー」、
「ぺっちゃくってん[illegible]ねーよ」と
日本史の先生の声が遠くから聞こえた。授業中、
ボクはガムを食べながら、
ニカリとした。
たのしかった117才。
お弁当がおいしかった。ボクは[illegible]

「ペラペラペラペラ」きたのば　長谷川誠

SKYtter ～SKY 職員のつぶやき～　vol.22

ここ数年、インフルエンザ・コロナ等、感染症が増加傾向です。2025 年 1 月にはインフルエンザは過去最多人数となり警報レベルとなりました（普通の風邪は何処へ…）。コロナ禍の影響が残りつつあるためか以前よりも自宅で過ごすことも増えたと感じています。さみしい事ですが人と触れ合わず、自宅で楽しめることを見出してきた気もします。

プチ楽しみ其の 1『植物を育てる』

昔は花や植物に見向きもしませんでした。年を重ねたせいなのか、なんなのか…（謎）。植物を育てる楽しみが芽生えています。5 年前、小さな芝桜の株を購入（1 株 120 円！安っ！）。土の栄養と水だけで、株分けできるくらいに成長しました♡花粉症後の楽しみとして春の 1 ヶ月半、今も元気に咲いてくれてます。また、自宅の観葉植物たちは休日にたっぷり日光浴しています。枯れてしまうと原因を考えて復活を試みます。人間と同じですね。

プチ楽しみ其の 2『国内プチ旅行』

子どもの頃から北方面には何度も足を運んでいるせいか南の方へ行きたい願望強めです。昨年は近場の下田市白浜へ！青空＋海を見ているだけで 1 時間居れます（疲れてる?）楽しみ方は人それぞれですが、そうは言っても普通の生活が戻るとやはり人と話す時間・機会は人生の中で貴重な時間だなぁーと心底思う今日この頃です。

FROM:はっぴわーく　今井さん　　　次回のつぶやきは？？　ホーム SKY　藤井さん

普及啓発委員会「破片のきらめき～心の杖として鏡として～」上映会＆トークセッション

2024年6月24日（月）、川崎市アートセンターアルテリオ映像館にて、上映会＆トークセッションを開催しました。約 100 名の方々が参加され、会場は満席となりました。上映された「破片のきらめき」は、八王子市にある平川病院で長年行われている造形教室の活動を描いたドキュメンタリー映画です。精神障害のある人たちをよく知り、理解しあい、人と人とが繋がりあえるように、誰もが自分らしく豊かに暮らせる街になってほしい、そのような願いを込めて企画しました。

上映後に行われたトークセッションには、映画監督の高橋愼二氏、造形教室講師の安彦講平氏、造形教室のスタッフ、造形教室メンバー、SKY メンバー、普及啓発委員が登壇しました。「映画の中の登場人物が話をしてくれてますます身近に感じた、ゲストの方々の本当の声が聞けて良かった、熱いトークに心が動かされた」等の感想をいただきました。会場のリクエストに応え、映画に登場されていた造形教室メンバーが素敵なギター演奏もして下さいました。

別フロアでは作品展も行いました。絵の前でじっと立ち尽くし鑑賞されている方、絵に添えられた解説や思いを読みながら、あるいは作成者の話に聞き入りながら鑑賞されている方、訪れて下さった皆様がそれぞれのペースで作品展を楽しんでおられました。があでんららら、はっぴわーくの製品販売も大変好評でイベントの雰囲気が盛り上がりました。

今回は映画の上映会・トークショーに加えて作品展開催という初の試みでした。開催までに苦労もありましたが、ご協力いただいた方々には心より感謝申し上げます。これからも地域との繋がりを深め、普及啓発に取り組んでまいります。

＊編集後記＊緑のある部屋に憧れますがエアプランツすら枯らしてしまいました。日当たりのせいでしょうか？‥（さ）